



平成23年度第5回(通算 141 回)技術情報交換会のご案内

3月末のSEICO-12(SAMPE-Europe), JECコンポジットショー参加の第4回例会に続き、本年度5回目の技術情報交換会のご案内をさせていただきます。

今回は、「先端材料とエネルギー」というテーマで、東レ殿、IHI殿、MHI殿、丸八殿の各業界キーパーソンの講師よりご講演頂き、例会聴講者の皆様も参加したディスカッションも企画しました。

講師の皆さまには、日本および海外の最新情報(技術、ビジネス)、日本における先端技術およびビジネスの現状認識・提言など、これから我々の進むべき道筋へのサジェスションを頂きたいと考えております。

複合材を含む先端材料はこれからさらに活用される用途・ボリュームが拡大する時代になると予想されております。そのような中でご参加の皆様にとって新鮮で役立つプログラムであることを期待して下記ご案内します。

記

1. 日 時:平成24年4月27日(金) 13:00~19:00
2. 会 場: 東京大学 山上会館 大ホール
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費:正会員・賛助会員:8,000 円、学生会員:4,000 円、非会員:11,000 円
参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普)1276101
先端材料技術協会』に振込料自己負担でお振込戴くか当日会場受付でお受け致します。
4. 参加申込:別添の申込用ファックス用紙に所要事項をご記入の上協会事務局にお送り下さい。
定員は 100 名ですのでご確認は下記宛にご連絡下さい。
Tel: 03-5907-3750、Fax : 03-5907-6364、E-mail : g001sentan-mng@ml.galileo.co.jp

【プログラム】

- 13:05~13:50 **基調講演:「PAN 系炭素繊維の現状と将来 ～環境・エネルギー用途の牽引役」**
東レ株式会社 産業材料部 部長 追野 英夫 様
リーマンショック時の世界不況から 2010 年に入り炭素繊維需要は急速な需要回復を見せており、今後環境・エネルギー関連用途を牽引役とする産業用途の飛躍的拡大が期待される。本講演では PAN 系炭素繊維を用いた先端複合材料の現状と今後の産業用途の発展のための課題について紹介する。
- 13:50~14:35 **「航空エンジンと複合材料」**
株式会社 IHI 主席技監 船渡川 治 様
航空エンジンのファン動翼にロールスロイス社が複合材料の適用を試みてから40年以上たつ。近年、省エネルギーへの関心の高まりとともに、エンジン軽量化が一層強く求められており、複合材料の適用範囲も拡大しつつある。IHIでの開発事例を中心に紹介する。



14:35～14:50 休憩

14:50～15:35 「世界における風車の近況と将来:洋上・大型」

三菱重工業株式会社 原動機事業本部 風車事業部 主席

／日本風力エネルギー学会 理事

上田 悦紀 様

風力発電は 2011 年末時点で世界では約240GW・20万台が導入されている。電力需要に占める比率も、スペインは16%、ドイツは11%、EU 全体でも6%に達しており、2020 年には世界の電力需要の10%を風車が供給すると予測されている。大型風車のこれまでの開発・実用化経緯と、今後の伸長が期待される「洋上風力発電」の最新技術・課題などを紹介する。

15:35～16:15 「複合材あれこれ 炭素繊維シートから高压容器の開発」

丸八株式会社 代表取締役

菅原 将高 様

当社の戦略素材製品である開繊複合材料(熱可塑樹脂、熱硬化樹脂プリプレグ)、水素充填車載用／インフラ整備用高压容器、そして樹脂ライナー高压容器の開発・経緯と、今後の動向について紹介する。

16:15～17:10 質疑応答+ディスカッション:テーマ「先端材料とエネルギー」 講師4氏

コーディネーター:株式会社ジー エイチ クラフト代表取締役 木村 學 様

(SAMPE Japan副会長)

17:20～19:00 懇親会

地下 レストランにて 講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。

会場へのアクセス :

